

滋賀県琵琶湖流域下水道事業 経営戦略見直しについて

経営戦略の構成(案)

第1章 経営戦略策定の趣旨
目的、計画期間

第2章 事業の概要と現状の整理
琵琶湖流域下水道事業の現状と経過

第3章 経営の基本方針
使命、目標

第4章 投資・財政計画
投資計画、財政収支計画

第5章 持続可能な下水道事業経営に向けた今後の取組方針



資料3

経営の基本方針

【 使命 】

住民生活にとって欠かすことのできない公衆衛生の向上・生活環境の改善、および琵琶湖等の公共用水域の水質保全への貢献

【 目標 】

住民生活等において不可欠な下水道の機能・サービスを効率的かつ持続的に提供すること

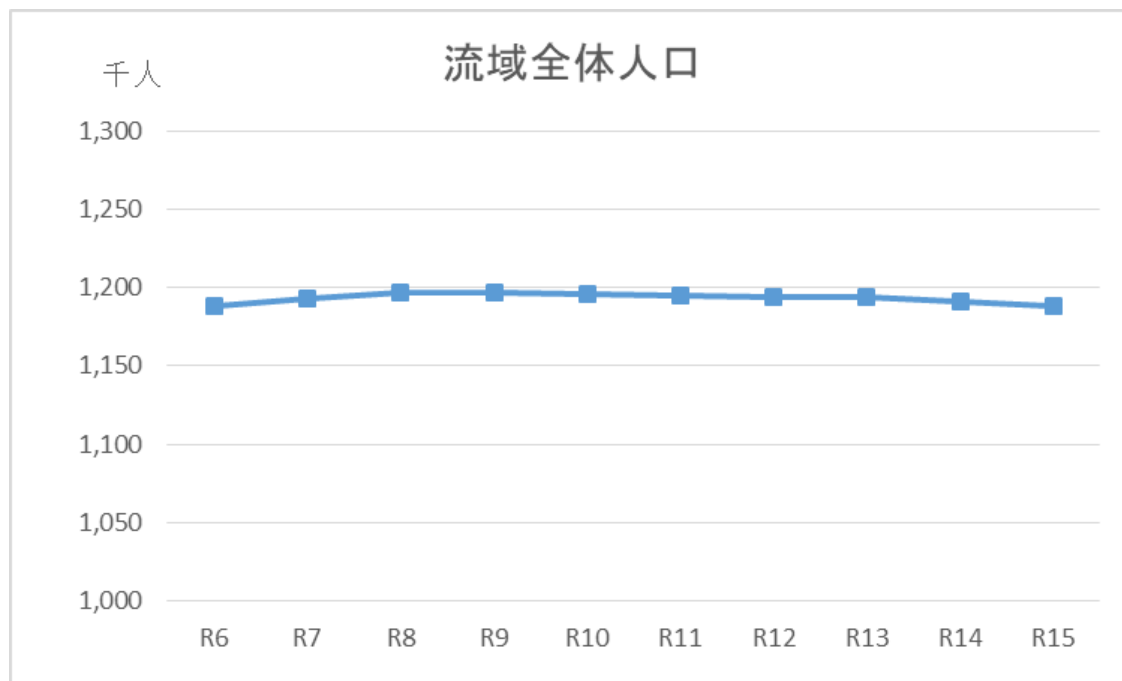
経営戦略の見直しについて

計画期間：令和6年度～令和15年度

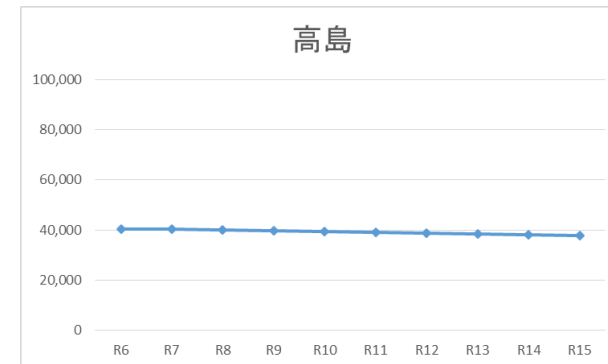
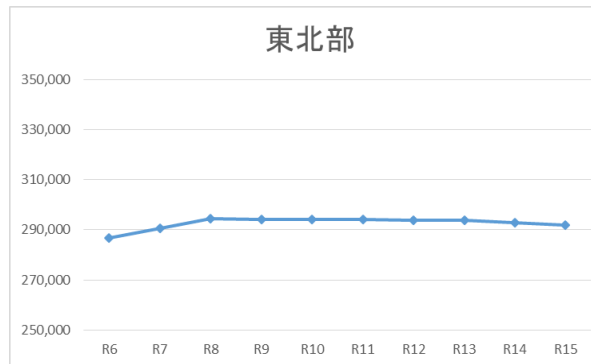
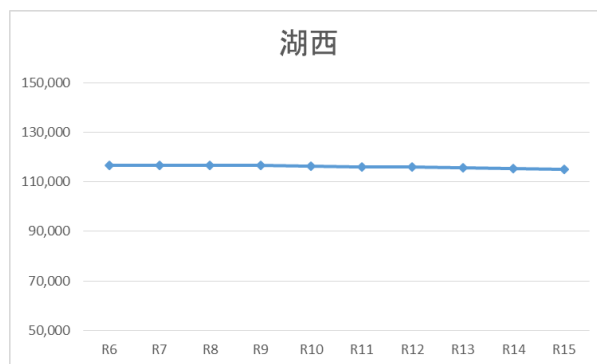
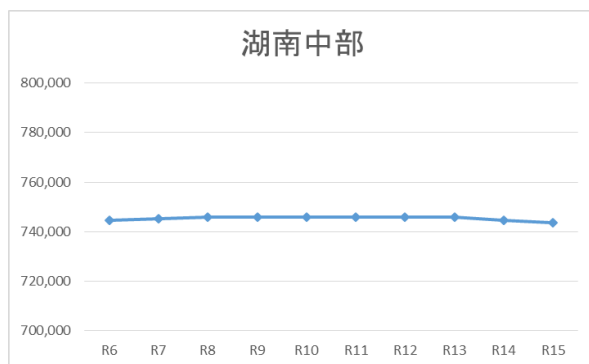
【投資財政計画の見直し】

- 第2期ストックマネジメント計画の反映
- 社会情勢の変化（物価高騰等）や実績等を反映した財政計画による将来見通し

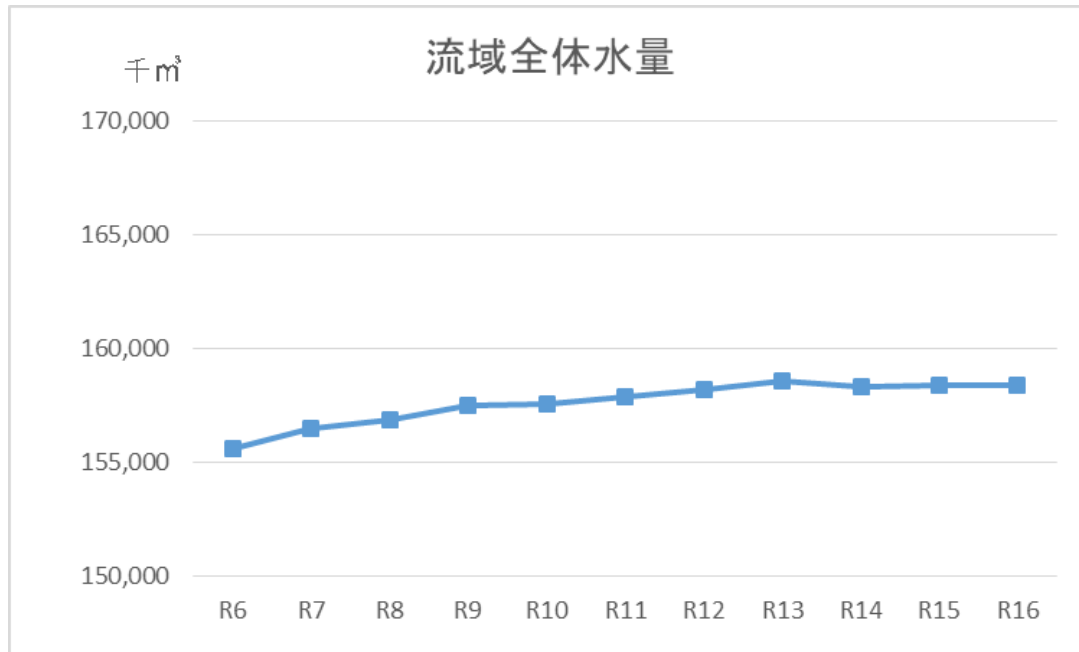
処理区域内人口の見通し



ほぼ横ばいではあるが、微減



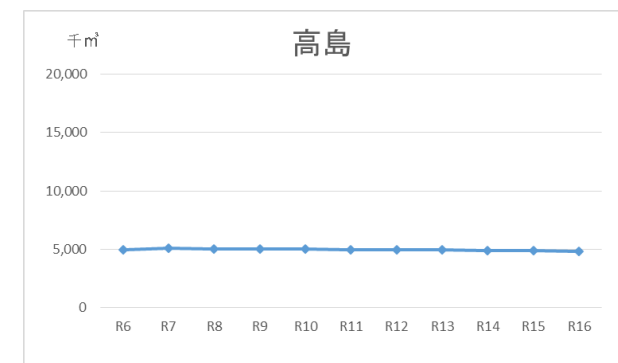
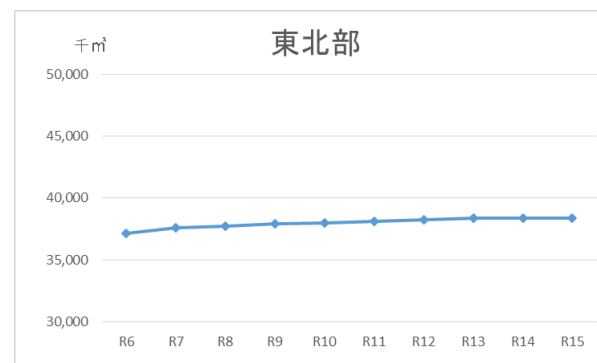
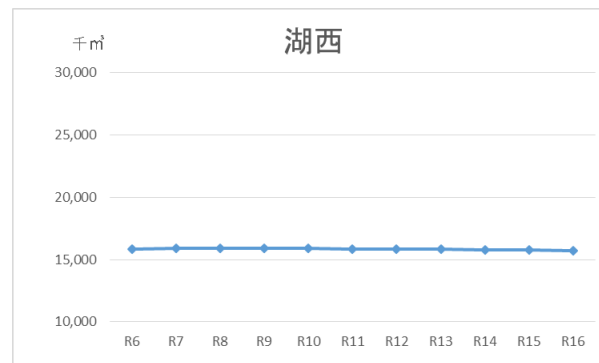
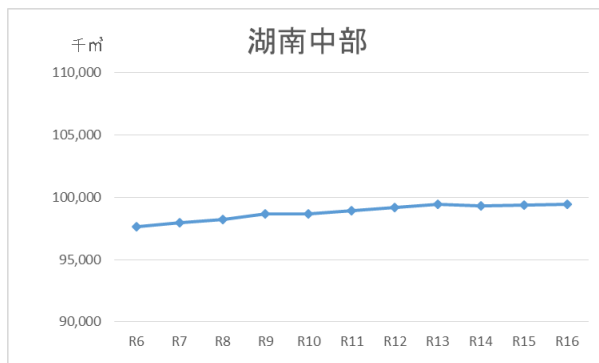
年間下水流入水量の見通し



＜流入水量増加への取組＞

- 下水道接続率の向上
- 農業集落排水処理施設の下水道への接続

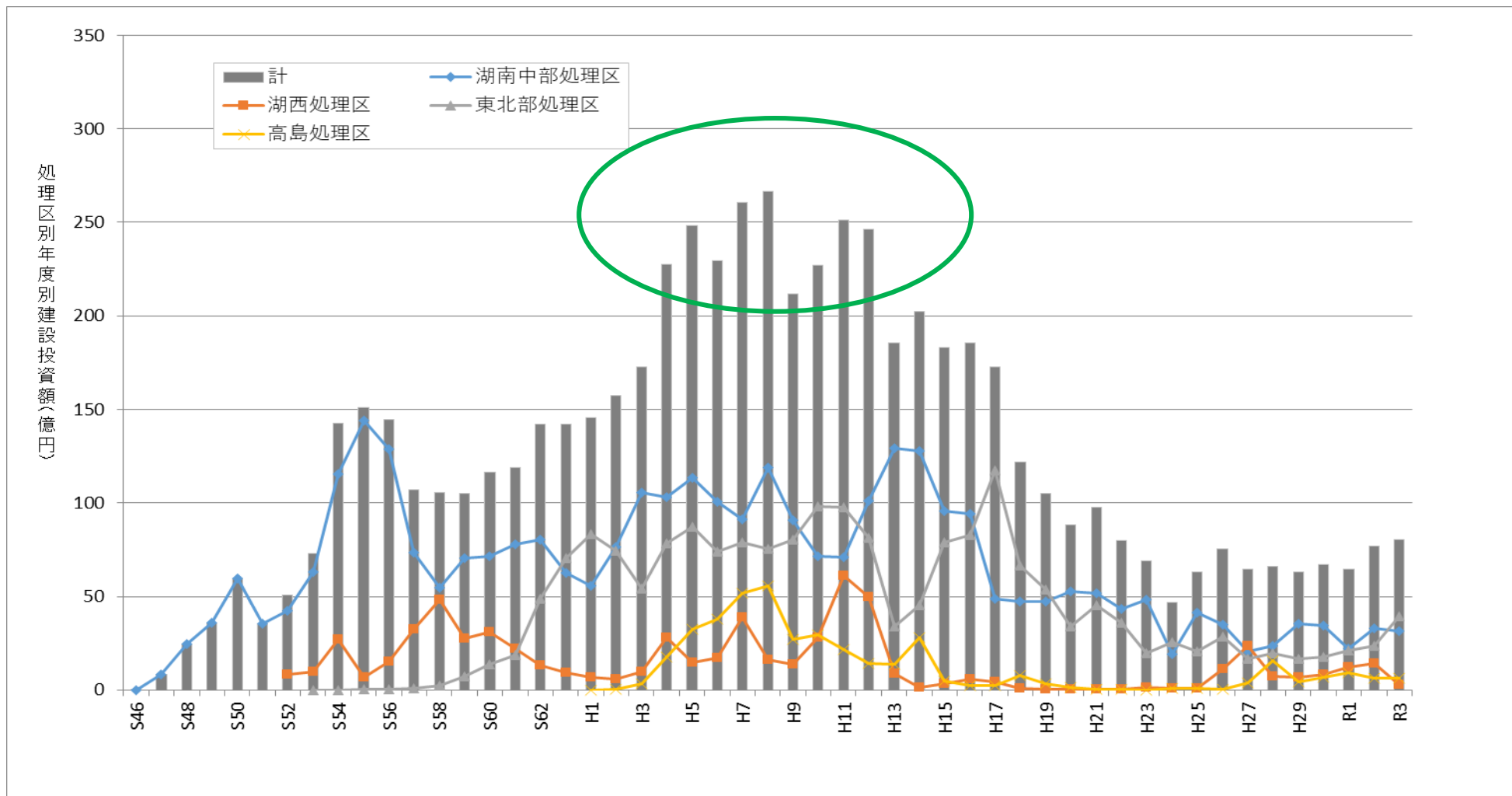
ほぼ横ばいではあるが、微増



投資資産の考え方(案)

平成8年度がピーク(高島浄化センター供用開始前年度)

事業費のピークから25年が経過し、今後老朽化施設が増加



投資資産の考え方(案)

- 着手済みの事業については、継続して実施することを基本として試算
- 施設整備等については、流入水量の見込み、事業の必要性、優先順位、投資規模等を踏まえて必要な事業を試算
- 改築更新については、ストックマネジメント計画の考え方に基づいて試算

【着手済みの事業(主要事業)】

○湖南中部処理区

2系水処理施設改築更新・耐震補強、
汚泥燃料化施設新設

○湖西処理区

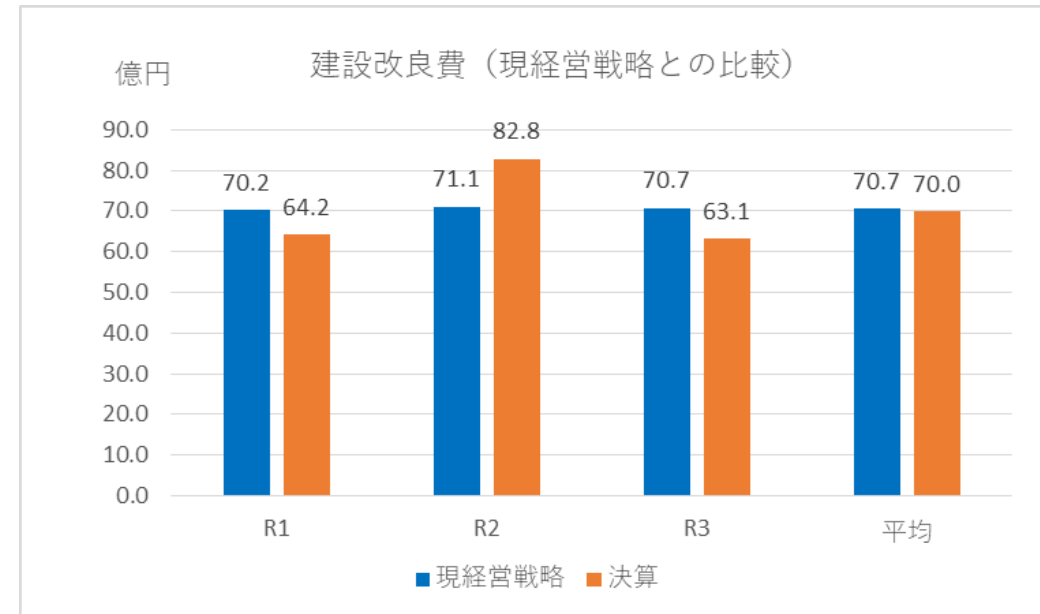
沈砂池設備更新

○東北部処理区

A系水処理施設整備

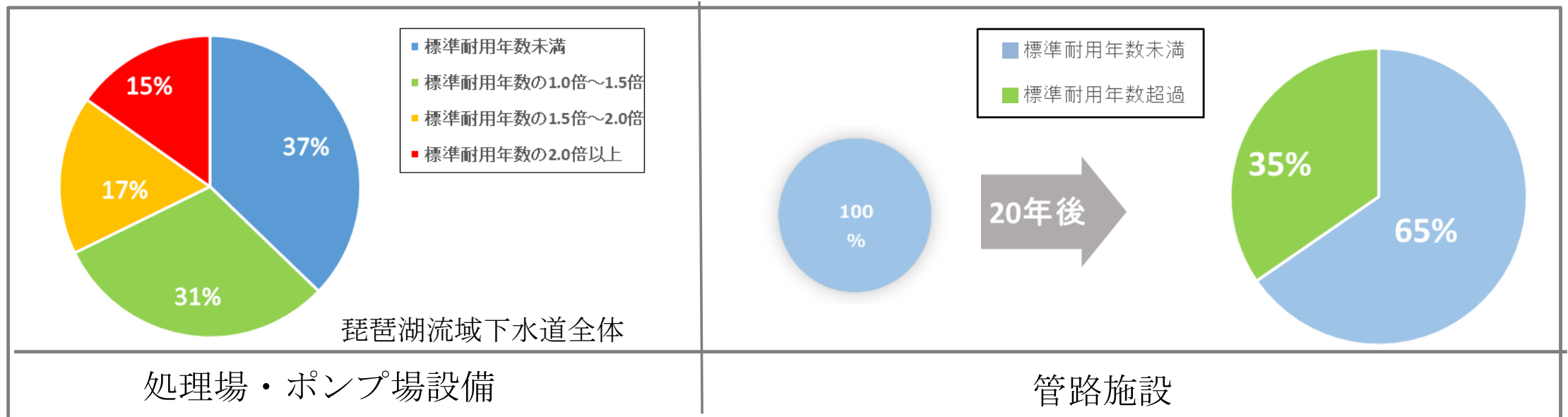
○高島処理区

コンポスト化施設整備



【ストックマネジメント計画の考え方】

- 処理場・ポンプ場設備の6割以上が標準耐用年数を超えてきている。
- 目標耐用年数を標準耐用年数の1.5倍（一部1.0倍）としているが、目標耐用年数を超えた施設が約3割となっており、対策が必要となっている。



令和3年度末

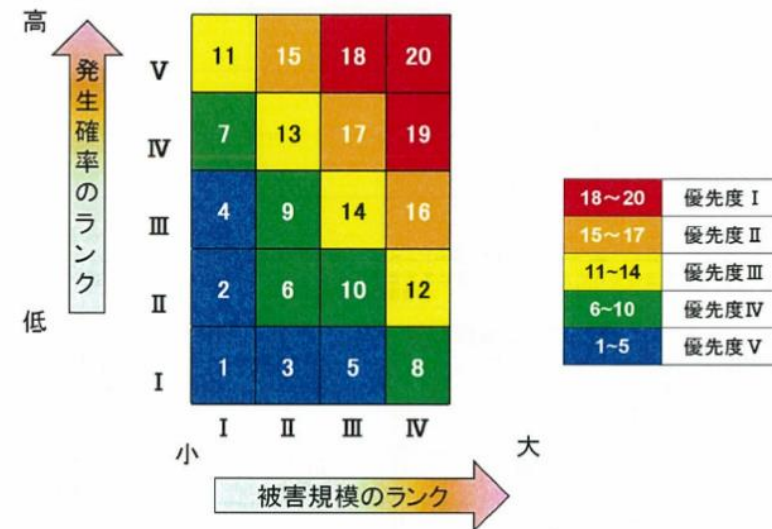
耐用年数を超過する管路・設備の割合

【ストックマネジメント計画の考え方】

- 管路施設: カメラ調査等により確認された劣化状況と、管径や腐食環境、埋設されている道路等の重要度により優先順位を評価
- 処理場・ポンプ場: 施設の事故・故障の発生確率と、機能・能力・コスト面での被害規模により優先順位を評価

		管 径								
		A			B			C		
		埋設道路等の重要度								
		A	B	C	A	B	C	A	B	C
劣化 状況	AA	I	I	II	I	II	II	II	III	III
	A	I	II	III	II	III	III	III	III	IV
	B	II	III	IV	III	IV	V	IV	V	V
	C	III	IV	V	IV	V	V	V	V	V
腐食環境区分 a のヒューム管、 コンクリート管、ミニシールド		I								

管路施設のリスクマトリクス



処理場・ポンプ場施設のリスクマトリクス

投資資産のまとめ

【主な事業予定(R6年度～R15年度)】

○湖南中部処理区

6系水処理施設増設、汚泥燃料化施設新設

○湖西処理区

水処理2系4号池増設、水処理2系1・2号池改築

○東北部処理区

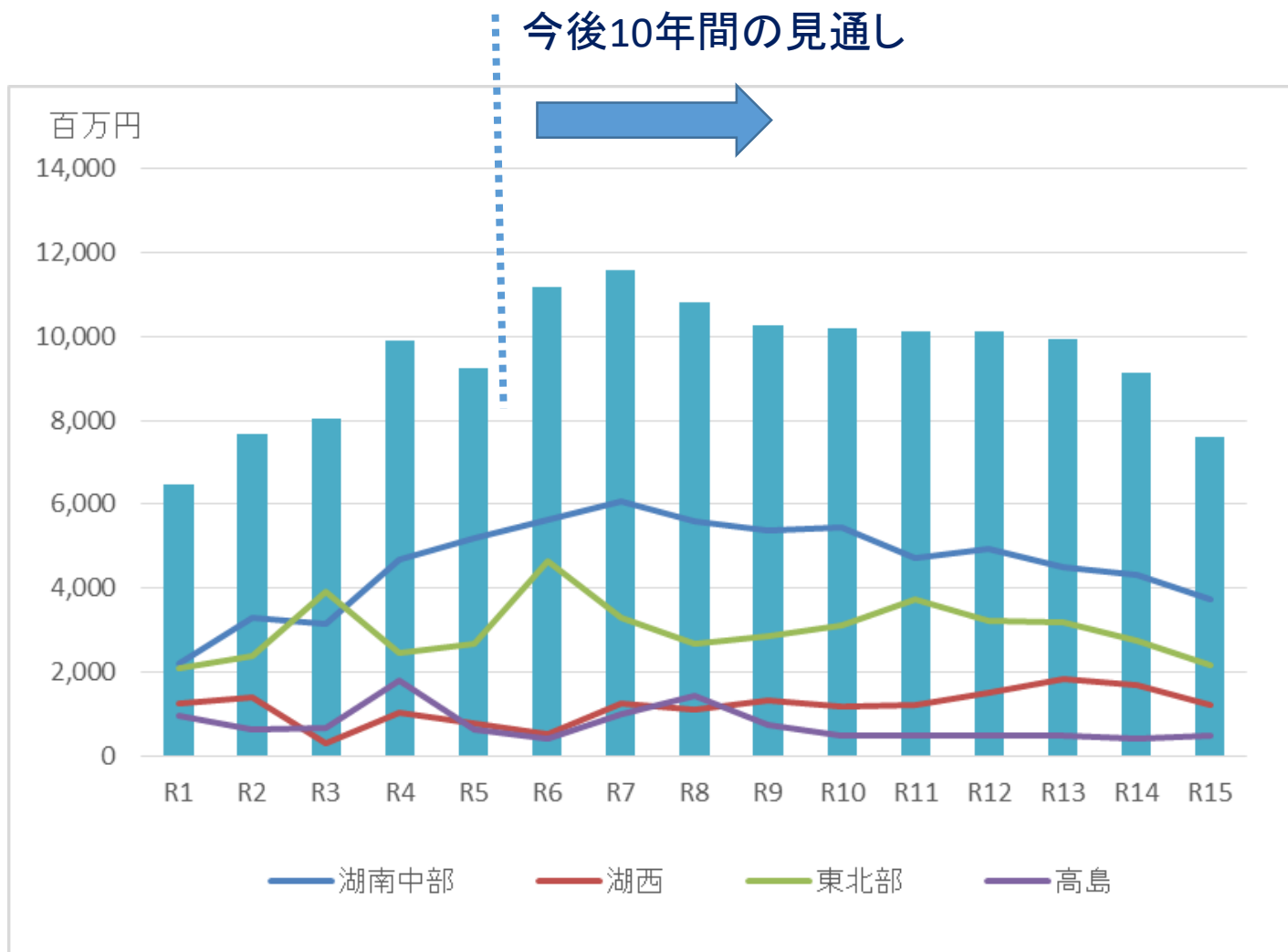
監視制御設備改築、汚泥焼却炉改築

○高島処理区

水処理5号池増設、水処理1・2号池改築

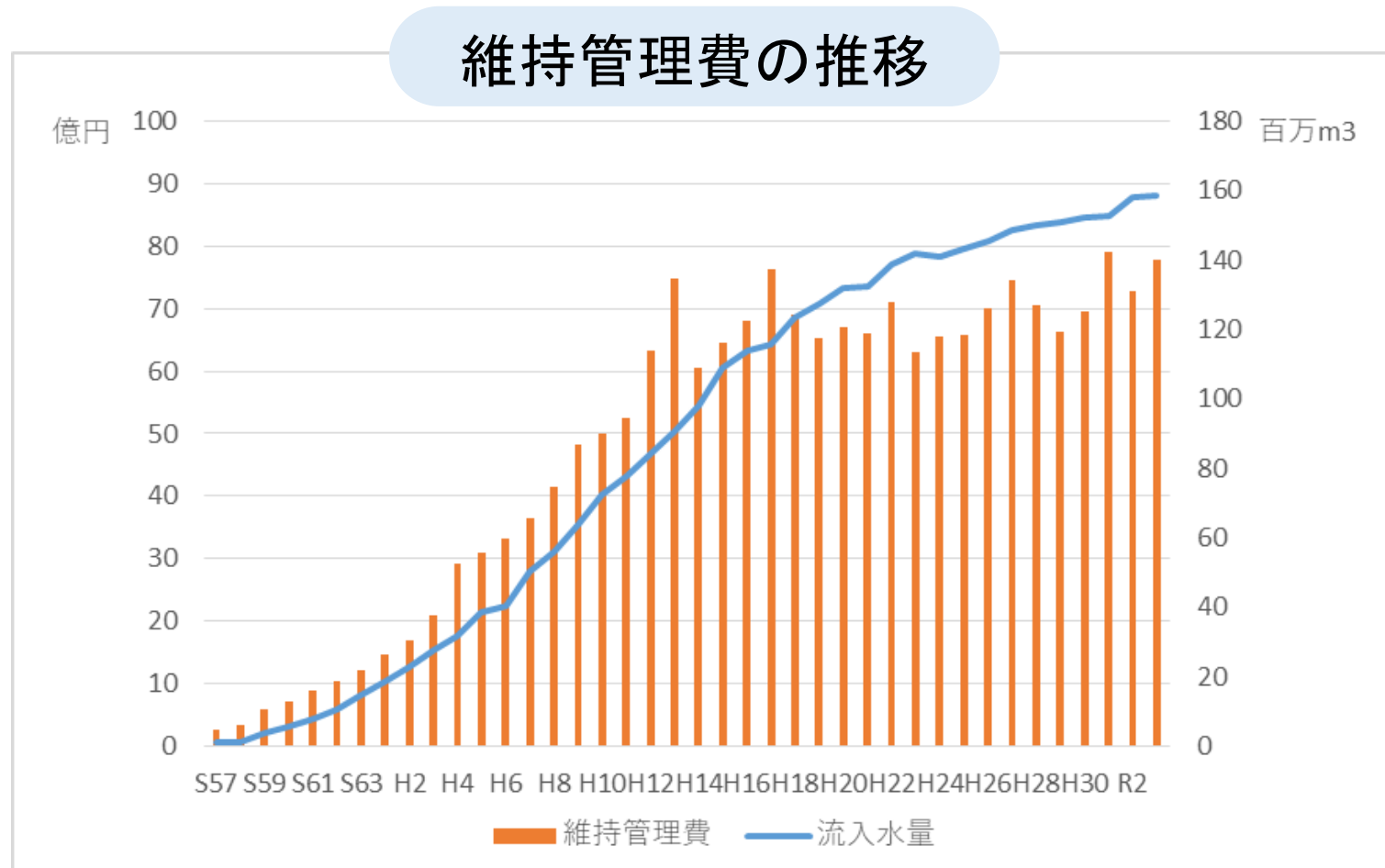
【必要な投資額(年間)(試算)】

湖南中部処理区	約50億円
湖西処理区	約13億円
東北部処理区	約31億円
高島処理区	約6億円



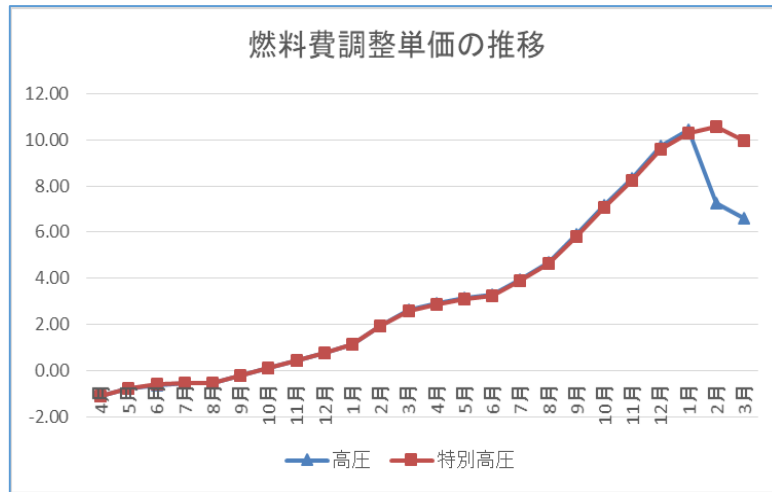
今後の維持管理費の見通し(これまでの推移)

流入水量の増加に比例して、維持管理費用も増加。近年は約70億円～80億円。



今後の維持管理費の見通し

- 電気代、ガス代等エネルギー価格の高騰等により維持管理費は増加
- 引き続き、民間企業の参入による維持管理の効率化や省エネ機器の導入などにより、コスト縮減を図る
- スtockマネジメント計画に基づき、優先度の高い施設から更新することにより修繕費を削減



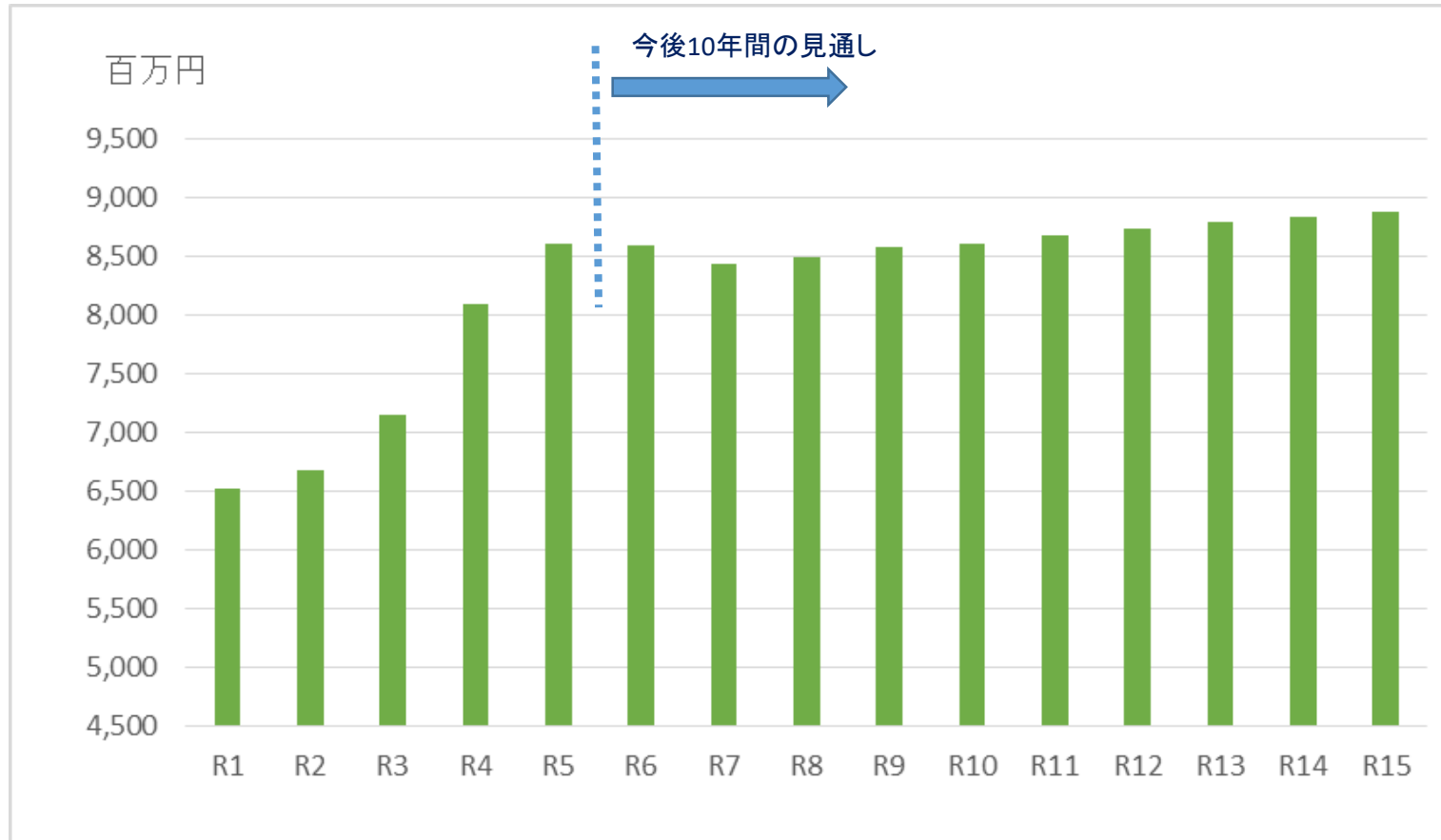
「電気・ガス価格激変緩和対策事業」(2023年2月分～2023年10月)

電気料金: 高圧契約にかかる燃料費調整単価から3.5円/kwh値引き

ガス料金: 都市ガス料金30円/m³値引き

今後の維持管理費の見通し(試算)

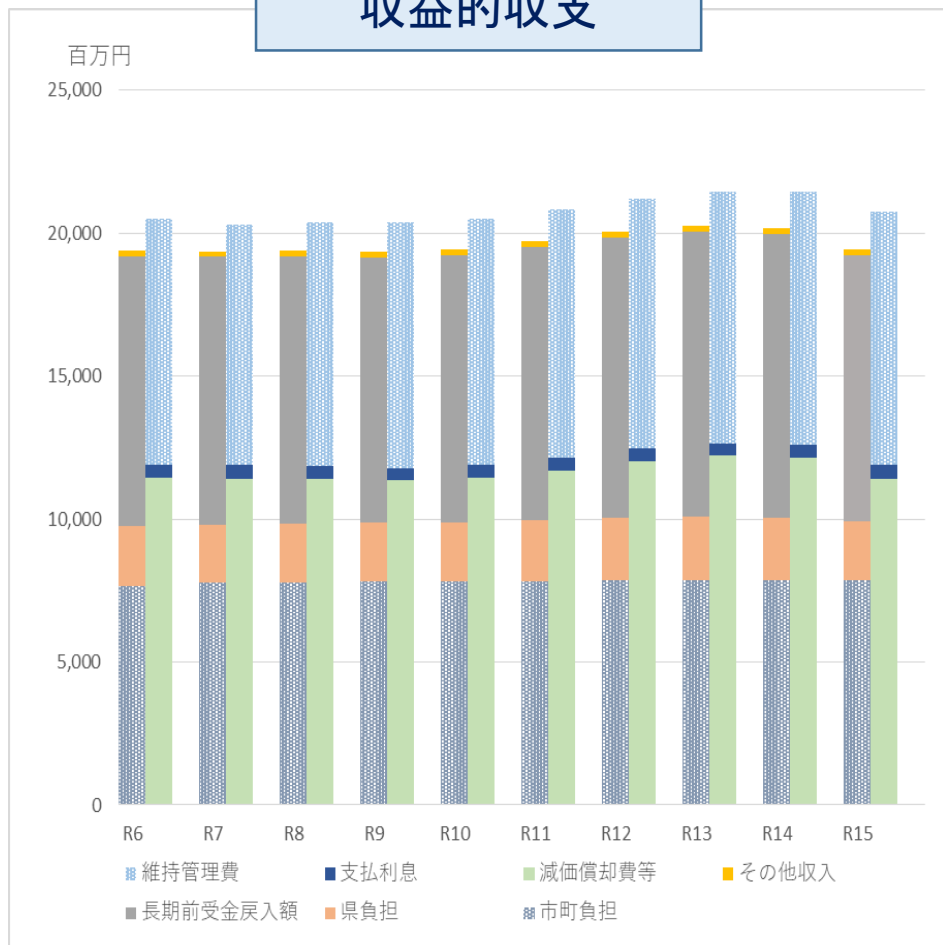
- 今後10年の予測は、毎年概ね80～90億円が必要と推計



投資・財政計画(収支計画)【暫定版】

- 現在の維持管理負担金単価を据置で試算した場合

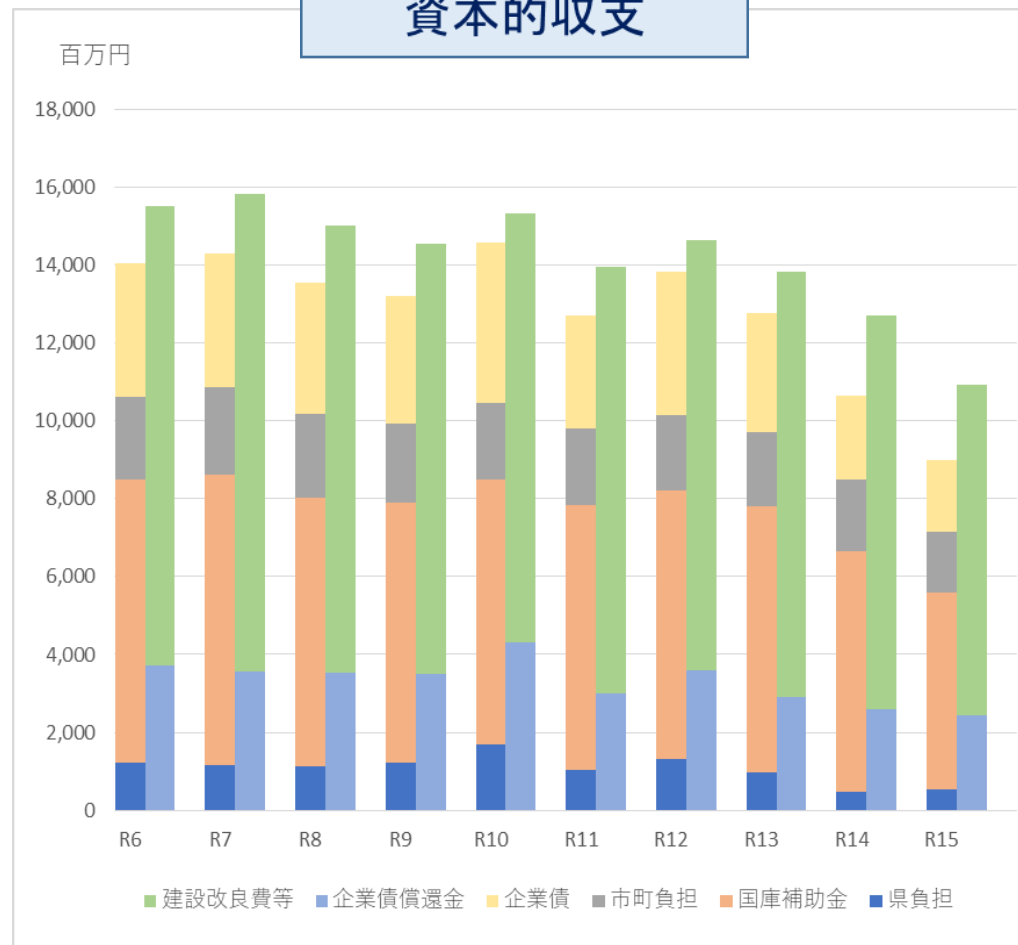
収益的収支



(右側：支出)
(左側：収入)

維持管理費	その他収入
支払利息	長期前受金戻入
減価償却費等	県負担
	市町負担

資本的収支



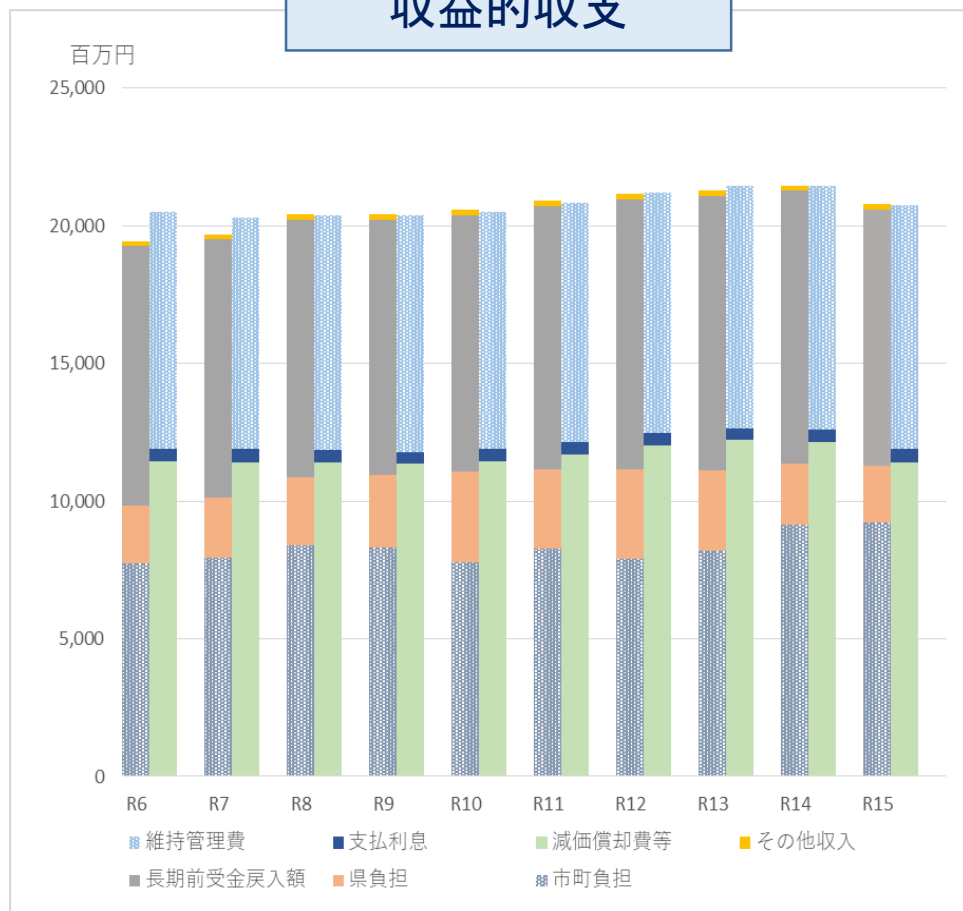
(右側：支出)
(左側：収入)

企業債	建設改良費等
市町負担	国庫補助金
企業債償還金	企業債
県負担	市町負担

投資・財政計画（収支計画）【暫定版】

- 投資に見合った財源を確保した場合
 （今期の経営計画期間までは現在の単価。それ以降は、負担を上昇させたもので試算）

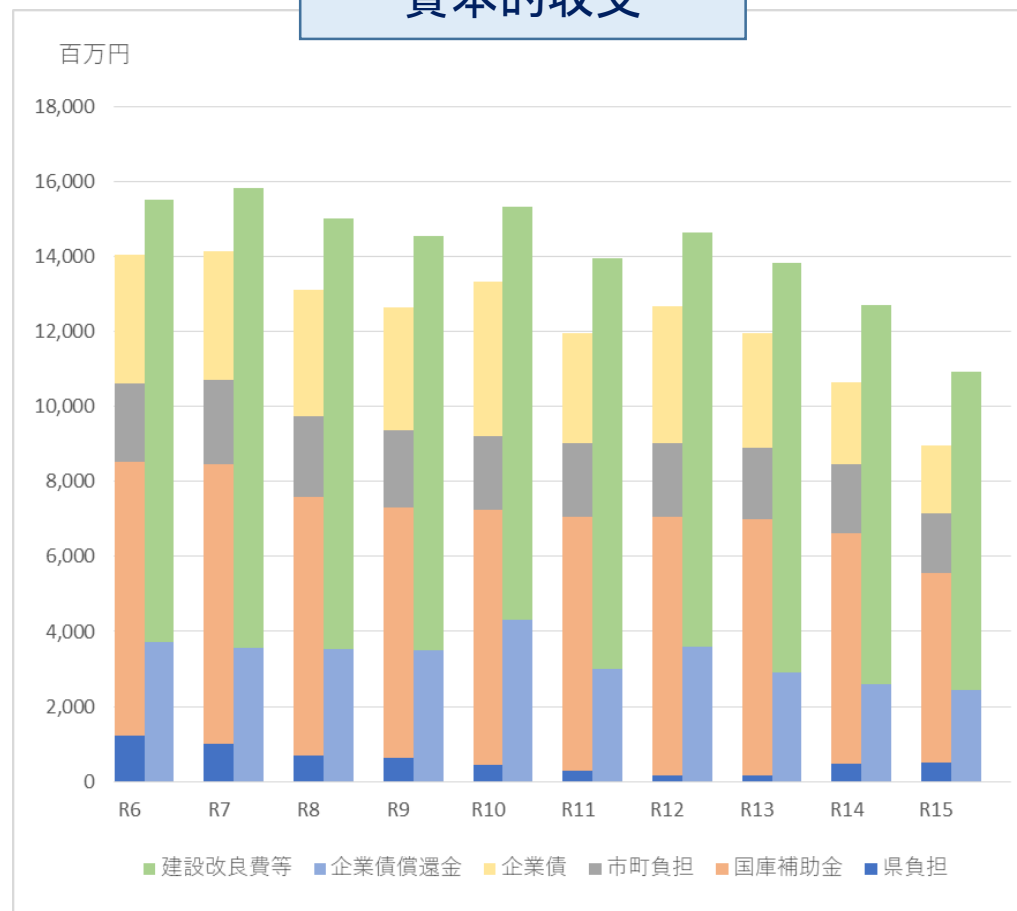
収益的収支



（左側：収入）
 （右側：支出）

その他収入	維持管理費
長期前受金戻入	支払利息
県負担	減価償却費等
市町負担	

資本的収支



（左側：収入）
 （右側：支出）

企業債	建設改良費等
市町負担	企業債償還金
国庫補助金	企業債
県負担	市町負担
	国庫補助金
	県負担

成果目標(案)

成果目標	現状値(R3年度)	目標(R15年度)	望ましい方向
経常収支比率	102.15%	100%以上	100%以上が理想
企業債残高	約 465億円	現状値よりも減少	減少(↓)

持続可能な下水道事業経営に向けた今後の取組方針①

維持管理負担金単価の見直しについて

- 処理区ごとの経営計画期間に応じ、精緻な維持管理費の積算により維持管理負担金を算定し、市町の意見を聞いたうえで、単価を見直します。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度
経営計画 湖南中部	令和3年度～令和7年度(第9期)				令和8年度～令和12年度(第10期)				令和13年度～令和17年度(第11期)					
湖西	令和2年度～令和6年度(第8期)				令和7年度～令和11年度(第9期)				令和12年度～令和16年度(第10期)					
東北部	令和2年度～令和6年度(第7期)				令和7年度～令和11年度(第9期)				令和12年度～令和16年度(第10期)					
高島	平成30年度～令和4年度(第3期)		令和5年度～令和9年度(第4期)			令和10年度～令和14年度(第5期)				令和15年度～令和19年度(第6期)				

※なお、経営計画の単価は、計画期間内であっても改定されることがあります。
消費税率の改定、流域下水道の収支計画に著しい増減が見込まれる場合 等

持続可能な下水道事業経営に向けた今後の取組方針②

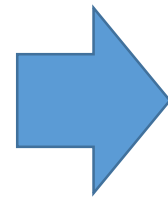
【取組方針】

ストックマネジメント計画による投資の平準化

【取組状況】

ストックマネジメント計画策定
(H30年度)

第2期ストックマネジメント計画
策定(R4年度)



【今後の取組】

第2期ストックマネジメント
計画に基づき実施

(R5年度～R9年度)

持続可能な下水道事業経営に向けた今後の取組方針③

【取組方針】

官民連携手法の導入

【取組状況】

汚泥燃料化事業をDBO方式で実施（湖西：H27年度～）

維持管理業務を包括民間委託で実施（湖南中部を除く）



【今後の取組】

湖南中部の3号焼却炉の更新をDBO方式で実施（R8年度～供用予定）

高島浄化センター汚泥コンポスト事業をDBO方式で実施（R5年度～供用予定）

維持管理業務の包括民間委託を引き続き実施（湖南中部を除く）

持続可能な下水道事業経営に向けた今後の取組方針④

【取組方針】

経営管理の向上

【取組状況】

地方公営企業法の一部
適用

(財務規定等の適用 H31
年度～)



【今後の取組】

経営分析を引き続き実施

持続可能な下水道事業経営に向けた今後の取組方針⑤

【取組方針】

広域化・共同化

【取組状況】

広域化・共同化計画の策定

(R4年度)

汚泥共同処理事業の実施

(高島:H29年度～)



【今後の取組】

都道府県構想見直し(R5～R7)

(滋賀県汚水処理施設整備構想)

農業集落排水処理施設の下水道への
接続を実施

雨天時浸入水対策などのソフトメニュー
を実施

汚泥共同処理事業を引き続き実施

計画の推進

- 取組の推進のため、PDCAサイクルに基づいた定期的な検証、評価を実施。
- また、人口動態や社会情勢などの経営環境の変化や各関連計画の改定・更新を踏まえ、5年後をめぐりに見直しを実施。

■スケジュール

令和5年 1月 審議会で議題提起

3月 経営部会での審議(経営戦略見直し(案))

7~8月 経営部会での審議(経営戦略見直し 答申(案))

9~10月 審議会での審議 → 答申